

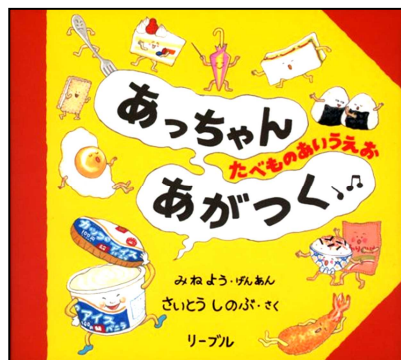
ことばとリズム

擬音語や繰り返し、ことばの響きやリズムが楽しい本を集めました。



『あっちゃん あがつく たべものあいうえお』

みね よう／げんあん さいとう のぶ／さく リーブル



「あ」から「ん」まで子どもたちの身近な食べ物が五十音順に出てくる絵本です。

ひらがなに興味を持ち始める3歳頃から、^{ふし}節をつけて一緒に歌ったり、絵を見ながら「これは何かな」「どれが好き？」等と会話したりと、いろいろな楽しみ方ができます。

『おまたせクッキー』

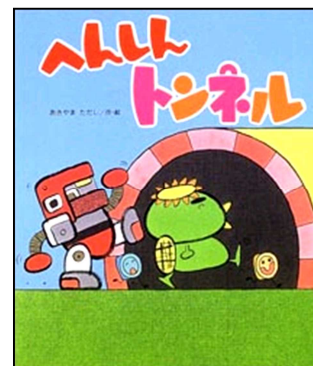
パット＝ハッチンス／さく ^{いぬい ゆみこ} 乾 侑美子／やく 偕成社

おかあさんが焼いてくれたクッキーを食べようとしていると、次々と友だちがやってきました。みんなで分けて食べたいけど足りるかな？

数のおもしろさや玄関のベルが鳴るたび人数が増えていくというドキドキする展開。登場人物の気持ちの伝わってくる絵がすばらしく、何度読んでも楽しめます。



『へんしんトンネル』 あきやま ただし／作・絵 金の星社



へんしんシリーズの一冊です。トンネルをくぐると、あら不思議。どんなものでも別の何かに変身してしまいます。

かっぱがトンネルをくぐると、何に変身するのでしょうか？ぶたのぶーちゃんがトンネルに入ったら？

クイズをしながら親子で楽しめることは遊び絵本です。

『おっと合点承知之助』 ^{がってんしょうちのすけ} (声にだすことばえほん)

齋藤 孝／文 つちだ のぶこ／絵 ほるぷ出版

「驚き桃の木山椒の木」「その手は桑名の焼き ^{はまぐり} 蛤」「ただいま帰ってキタキツネ」…おじいちゃんと孫たちが、そんな「付け足し言葉」で楽しく遊びます。

大きな声を出して、読んでみたくなる、笑いにあふれた絵本です。



～その他にも～

『ごろごろ にゃーん』

長 新太／作・画 福音館書店

『きよだいなきよだいな』

長谷川 摂子／作 降矢 なな／絵 福音館書店

『チキンスープ・ライスいり 12のつきのほん』

モーリス・センダック／さく じんぐう てるお／やく 富山房

『とりかえっこ』

さとう わきこ／作 二俣 英五郎／絵 ポプラ社

『わにさんどきっ はいしゃさんどきっ』

五味 太郎／作絵 偕成社